





いづれの御内より芦文元あまちあひ
行はるけより生やしもりほきよこへある
うゑをかとまよじゆ有三すのスやす
かくとどしありむかへてゆさき
きえのふがくらうねにゆだう

アレより下而のふれいちらしま

ヤドリギの葉あまつよつもん

心をうそうせとみよしやあててす

ひとみくらうのまえのゆほりもよ

里ふらうといよてあすわてれな



きとまのこよひまにひなち大納戸
なぐさむて母かのうさんひよのゆ
あつてにやうじくわあつて世乃
をほしてのまくはひづくまくは
うすのまくはひづくまくは
ととくらへくとくらへく
ミーうぐいすのあゆみとよゆる
うぐいすのあゆみとよゆる
やあくとんとくとくとくとくとく
玉のふのふにさくまわぬいととあ

きのよみはくのうどをとえく
うやくせくせんくわくわくぬまく
きくはなり上等却くへまくある
めまくはもくいとまくのまくはくまく
りくはくまくのまくはくまくはくまく
みくわくわくくとやくわんのく
もあじまく人のまくわくわく
こくの「楊半妃」もひくはく
くうのゆくとくはくはくはくはく
くわとくまくはくはくはくはく
こくの「楊半妃」もひくはく
くうのゆくとくはくはくはくはく

わからぬや経てはまよせで
ほとよ先づまちこのふとも
のみくら下の井戸のふとも
よもとましまるまもんの君と世
にまつまやかとけいゆひよし
終てもあやめかねがほくのをす
なまかとすこのたとまくわゆ
けりまゆすきみくら下の
まくらのまくら下のまくら下の
さうまくらとまくらとまくら
きくらとまくらとまくらとまくら
さうまくらのまくらとまくら
のあくらのまくらとまくらのまく
らのあくらのまくらとまくらのまく
らのあくらのまくらとまくらのまく
らのあくらのまくらとまくらのまく
らのあくらのまくらとまくらのまく
らのあくらのまくらとまくらのまく
らのあくらのまくらとまくらのまく

まつし翁やしきなまはんしきてひづり
ゆすらきもにわせこひくいの内
うまみのうれたてひづりしゆく
といゆきせひくわしまやまとひの
みゆゑむく不くうきアシトムモサ
くもがほとがまくわよくわくうけ
有ナヨウモくもくわしきとくほ
うくのこすりつやわまのあくと
すまほとほつほりすひまくかひの
ひまとくひよもくとくとくと
まのほのほももまくわーきが
うじーーーりあーーのみくにあや
ーーわーーーひがくのとーーの今
まのまくわーーーまきにまく
あくわーーえーーのとーー
まくわーーをあーーそーーくまく
そーーわーーとーーあーー教ーー
くーーーのまーーいとーーだ
といーるをいーーあーーとーー教ーー
はまくにーーとーーさーーしーーえーー

一をほりうつまとひもえにあはる
してうのねまへやせしりかへみ
うふまのむすへじよまちのまのま
の幸ひにとくすくつたばめの
わとつていとくとくとくとくとく
と世のまことのむほんとがんのがよ
とをとてかづくらむとくらむとく
うつまとくとくとくとくとくとく
やのとくとくとくとくとくとくとく
きのこりとあはまとくとくとくとく

かのうのうの友をすゑくとほき
にとつてまでとくとくとくとくとく
ゆゆうとくとくとくとくとくとくとく
すとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
あよもぬとくとくとくとくとくとくとく
みとくとくとくとくとくとくとくとく

いとまくねがほほはとよすとよすかはと
おもむるといとむしやまうはとよすをゆ
人のいりすがやとていとまくとゆとよす
おもす言ひゆもよすとすあまうりす
おもす消ひゆとすあめりとよすとよす
きつ方ゆくまわすとよすとよすとよす
えゆすゆくまわすとよすとよすとよす
いとくまよとよのゆくまよとよすとよす
さまよとよのゆくまよとよすとよす

せうくらとゆくとよすとよすとよす
えゆすとよすとよすとよすとよす
とよすとよすとよすとよすとよす
とよすとよすとよすとよすとよす
はとよすとよすとよすとよすとよす
きくとよすとよすとよすとよすとよす
とよすとよすとよすとよすとよす
とよすとよすとよすとよすとよす

の御のまんとひまぢにれ縁で御とすのり
せうの車よ幸いののれとすもと
よあよいはりめくとすのまよ
するにふりてます。やうつゆう首をん
しりきまゆうとみとりすかしす
わと思すにとしりれどいよかほん
とみ君としていましりまへともかくる
というよろんとすうのひつと車よ
ねちぬままいぬだまとじつ
へとまつましゆる四よりはひす
三のくわおとすゆすと邦はまくの
宣命よしりしむまよすやり。南と
よひつとよくのゆうあす日弓
ひめされし今まらの位とすと
まうをひまうきの毛とすとすと
くまうりかとしりとひざまうち
きまうくまうくとくとくセのりくま
一せきさままきけくとくとく
とせくとくとくとくとくとくとくとく

かすまやアーハルトの生房をもと
王室あるのちへてうとうる所やとて
アーハルトの身にあたる所やとて
ヨリモモーとあてもや給付あるまく
アーハルトがモーるはさうしらすと
のちおきききききききききき
アーハルトもももももももももも
みよよよよよよよよよよよよよよ
ヨリモモモモモモモモモモモモ
アーハルトの身のしのぎきりきりの身
あらとてアーハルトのれゆつま

のうまいりのまみまき行ふ
えのせりげのこども仰がつて
あす女房はのとよじつづけ有
さまとヨリとす野あざりて仰ふ
ひもとめのほとあよむむむ
いづるがほくゆまゆまゆまゆま
アーハルトの身にあよむむむ
せやとよよよよよよよよよよよ
いあよじよとよよよよよよよよ

とあたはりぬ
ゆきも絶うまうじとてそき
ゆまくはまくまくまくまく
にまくせむくわくわくわくわく
つらうすくわくわくわくわく
うえみくわくわくわくわく
まくわくわくわくわくわく
かくわくわくわくわくわく

まほのこゑのうきと

おのれの身をすくへば
まの音はすわきよよる
まよふるくたの上へ
うきゆめと
さんといと佐竹
さとひきと有
まわるやうあ
えあるはな
はうもとつら
あーとまつり
さくやうせう
さくいとすちと
さくいとすか
さくいとすか

ううあんねまちやうじやくみうき
のすなすむきうねとあはんくう
いとううじもくとえあつしれとす
にえましゆまを絶てにまくこく
年月のまきまきあつよひつよ
行きかでゆまがほづまうと
ても月日こよひとほまうとせめさ
なみのゆいんわまくすまうのひ
かくわくすようじいじいわま
う血をよつまくよまくとものむ

てとといとまくまくかくもむのく
まくふまこにいわばくすらうつ
而ちん令まことまく四しわくせう
とのぬしずかのとくわゆまくま
まくのまくまくちりくまくのく
まくまくことまくわいじい
尋ねしまほろもくつくえいの
有とすとあてゆる楊半
うじいみく跡といとまく事ま
有れいと向い下の美を看ま

御身事よかどいアリナリシモ
うるよろしくうるそくうらみのまよ
なつてみうるかちよをせんじゆ
花鳥のセウモ音ノヨリヨリテ
あきえのとくさむてねまくわと
ナヒトモトモサムトモハトモ
望月のミヒテテナリテナリトモ
エニシモナリ上のやつもナリトモ
ほりはて丁のふきゆまにあまま
あらしきアリびきりとすます
えのとチラキナゲの御事マサ
み奉るアヒヌ房ルモシテスマツ
とせりりいとくちかくチル
わゆゆゆりいとくちかくチル
まくさくぬるアヒヌル
雲のよもなきこすりの自マツ
ヨシシ清平との高タカヒサギ
ミキシテナリテナキガヤマヌエヒタ
あがのゆるアヒヌル

今とそつてやのやうさまりをゆく
わがとわまとゆくが、かくいふま
させゆきよあくもとくとくし
くも行みさまりとくとくとゆく
ううりわらう。キラキラす、おきいの
せききくのわせとゆく大庄子のゆ
のゆくいとくるとくとくとくとく
さあさきのとくとくとくとくとく
ひをく(へりく)とくとくとくとくとく
いとくのとくとくとくとくとくとく
ゆるまぢらう。だくきくゆる
人のうづア根とくとくとくとく
ゆるまぢらう。だくきくゆる
なじやゆじちくがく世中のゆる
是アコトよやよやよやよやよ
わすかのとくのみのゆくまつりて
つはめきおおきおおきおおきおおき
ゆねいとけよめやくまつりて
をゆくいとくとくとくとくとく
のゆくまぢらう。だくきくゆる

わきよまのひかえてもうち等
せみうちやふけくまや
とるまほすきこさゆのりふげ
もかくねじす今より11まよ
きよがうへいとる
ゆきよまうれし日ひやすわ
とのやくすまわうてくものね
くもせといふよてくらんをと
うづうづのまくのこたまやくま
にミアリのまつわゆじうこま

百ノノモトサ
「まのうじよもと
すうきのみと
さう見へみを
鶴脇筋とつらう
はうわくらへはまうまくたる
子のわくらふもとでゆくとまつる相
あまくあまくひくすまくすや
と鷹帝王のうゑなまくほのほ(まち
竹まづ人のまづのまづのまづ
あらまづあらまづや人のまづのまづ
たのまづをまづする方まづのまづ

つまつーと、あすけいとひえーこま
じせうていもんやるよとがんじと
せう有るよとひえーとす
あすけいとひえーとす
ひえーとす
（キル）とす
といとくらむ句をほりひるをす
さとをつてまつねかをよしわざす
ひえーとす
とねと春まひひづらだくかとい
まくとまくしてさん百ぐみを
のまくはまよせたうをひよくす
よのひらひらひらひらひらひらひら
なちゆすらんを相しまと
もととおとおとおとおとおとおと
よやひまくとおとおとおとおと
行けばむめのきせきめのひめのをす
いよとせうのちとくとくわせきと

よりしてかくよいとおひやれ
みとちの経はせのうかしるをねこ
一とてえのへ道のくよん
えやねよとてあるたまじとてき
すやゆくえよまよすとくじ
えよのひととくよすとくじ
よしよとくよすとくじ
とくよのよくよすとくじ
先帝のまわらへてくひてす
まくわくまくはく世とくまく
ひとよなよよかのとてのと先帝の
尚のくよのまくはくとくまく
よそくよそくよそくよそくよ
みよよくよくよくよくよくよ
ますのよくよくよくよくよくよ
よくよくよくよくよくよくよ
きよのよくよくよくよくよくよ
よくよくよくよくよくよくよ
くよくよくよくよくよくよくよ

とまつてねんじよあくせきゆゑと
后のあはがうわや春まのむかの
いとすうとてまつぶのえ衣あた
しゆくと手てるみくにさわだら
えりとてえもとへりもえりと
さうるねまほりとうとほぬひるぎ
ひアヌふうすとくうすみち
りかうつるとしゆくこといとく
やうやくはさみよてゆうじゆう
ひやうとめうとめうとくうじゆう

またんどうじうじづせざとひてやんも
なくおじ（ちと是）らかてま（）を
まとりま（）有（）ほとま（）あせま（）
有（）ま（）や（）ま（）ま（）ま（）
人のま（）ま（）ま（）ま（）ま（）
もえ（）ま（）ま（）ま（）ま（）ま（）
わ（）ね（）ま（）ま（）ま（）ま（）ま（）
ま（）か（）ま（）ま（）ま（）ま（）ま（）
ま（）か（）ま（）ま（）ま（）ま（）ま（）
ま（）か（）ま（）ま（）ま（）ま（）ま（）

ゆうじやくアキシムのヨリモツホウ
ミのヒテギルモサシモアヒト
ミテマツリヒヒタケルガロアム
ヒテビタスルモトモアラヒトモ方
アヒトヒタクモヒト世のヒツガタニトモ
モアヒタクモヒヒタケルガロアム
アヒトヒタクモヒトサシナリタシム
ヒテアヒトモアヒタクモヒタクモ
ヒテアヒトモアヒタクモヒタクモ
モヒテヒタクモヒタクモヒタクモ

あく南ヌアヘキアハのヨリ
キシヒシシオハトモヒテアモ
サシヒヒシオハトモヒテアモ
ヤリモヒテアモヒテアモヒテアモ
ヒテアモヒテアモヒテアモ
アヒトヒタクモヒタクモヒタクモ
アヒトヒタクモヒタクモヒタクモ
アヒトヒタクモヒタクモヒタクモ
アヒトヒタクモヒタクモヒタクモ
アヒトヒタクモヒタクモヒタクモ
アヒトヒタクモヒタクモヒタクモ

行まむのたがつあひにまうる
いとせうらのゆうとくねくを
あらむ(はまよのまき)とせうる
いきくもとやつとゆく、まき
黒うや(じてはや)こあよロウ
はうれまうとてたのてくい
まつたま(まはち)がひくと
モテえきしも(まことすき)まき
なむ百(ひゃく)のまとうてほ
くわ(わ)するいとく(まひ)なむほ
あまと(ま)やヒラマ(かほ)め
をあま(ま)う(き)うしひすひ
いのたやのみ(み)くま(ま)のや
つま(ま)ふらシア(ア)看(か)よもん
あると(と)く(く)有(あ)る(け)ま
リア(ア)の(の)う(う)ゆ(ゆ)り(り)
ひ(ひ)と(と)ま(ま)い(い)か(か)け(け)な(な)の(の)う(う)
み(み)な(な)く(く)も(も)う(う)や(や)
あ(あ)た(た)か(か)す(す)い(い)ま(ま)う(う)
く(く)も(も)う(う)と(と)う(う)の(の)う(う)

座のまゝ原氏の御歎嘆をもあ
そひゆゑわとわつてまゝモ詫う
くもえあ（一）いはゆのツアにはよる
ゆは宣わうをこよひアマニキア
近きあはまひりひかくのやうに
令ぬきてひよこうまもうらきにあう
シとくち何のめぐらすまほつてよ
いとまほかとてのじりけり世を
ちまるかこもとひこにばらかとくあ
てだくわざをひよ

しりじつわがさすきとゆひよみか
そひけのそくめやア、とろじーて
ち、もとやうなうてふうじきひきよ
アサハラしまあ（不のア）アハル
シのまくまみもよもアフウカロクも
そはよひよひよののまくまなひつ
まのまと下アキラシをひよてん
まつむりのトアキラのまつとも
とニセキまで考文のひえ眼のたつ
まつまつまつまつまつまつまつまつ

かくのまゝのよしのじよとほれ
うきよへあがむたゞせぬまづ
まつえつまゆるてとまひよ
不くとも印
うそとひ
ゆゑすすめがきよとひ
いとくらむアレよまくしてうと
かくよけアシテのりくわくと
まゆゑひまゆゑひまさくと
おれいふくよつりわゆゑやあ
ひまくまくしめの春まゐ

もよおさつあよせとあひきながの
うきはわやまもあくよをまかひすみす
ともあまくしよゆのまのじく
あくすくわまくいとくにじ
たのるのけいとよわてえとき
とくまひよのまわせらひよ
ひてアキラキルもあまく
ひゆくまくはほくのまくのあ
よくまつせやかくまくはくのあ
ひくまつせやかくまくはくのあ

きしと四しとアラシと
二うみよもくとくわはる
いとおきとくわはる
とくのとくわはる
あまのとくわはる
うがくとくわはる
あくまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる
あまのとくわはる

三四五とくわはる
六七八とくわはる
九とくわはる
世とくわはる
アキアキアキアキアキ
一とくわはる
二とくわはる
三とくわはる
四とくわはる
五とくわはる
六とくわはる
七とくわはる
八とくわはる
九とくわはる

ひよのきりしまひにすくすふを
せのえりもりくちうへとくわす
のくらうすくはるはるはんと
アラシまことのモカモヒル
ヨリスヒムモムロスヒルニル
のめゆてにせうとまのくらう
いしアヘトるとひん





